

産業廃棄物の現状
(令和4年度実績)

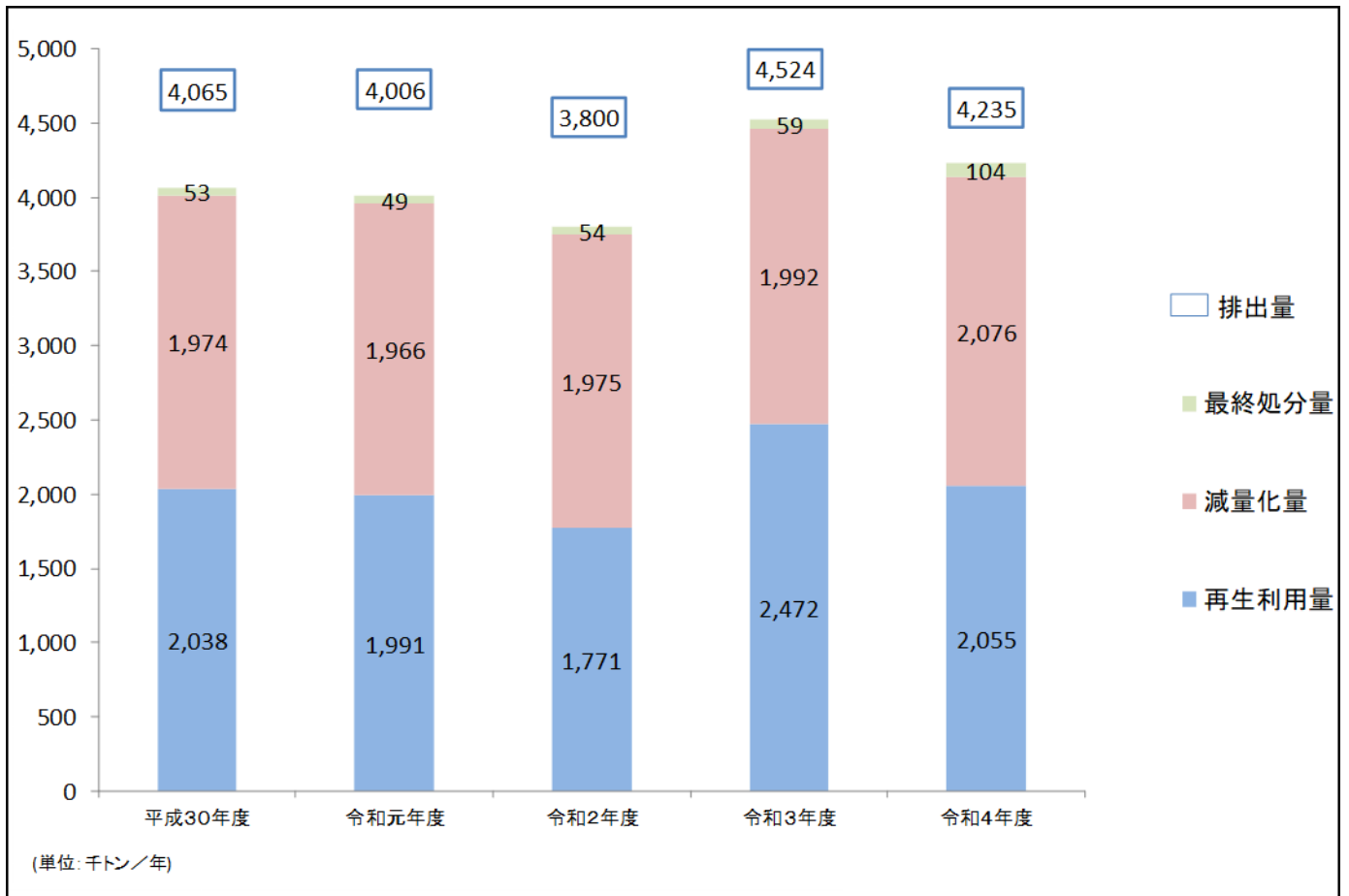
令和6年4月

千 葉 市

1 産業廃棄物の現状（令和4年度実績）

（1）産業廃棄物の排出量の経年変化

平成30年度から令和4年度までの千葉市内から発生した産業廃棄物の処分状況の経年変化は下図のとおりです。



注：四捨五入等の関係で合算が合わないことがあります。

図1：千葉市内から発生した産業廃棄物の処分状況

(2) 産業廃棄物の種類別排出量の経年変化

表 1 種類別排出量の内訳

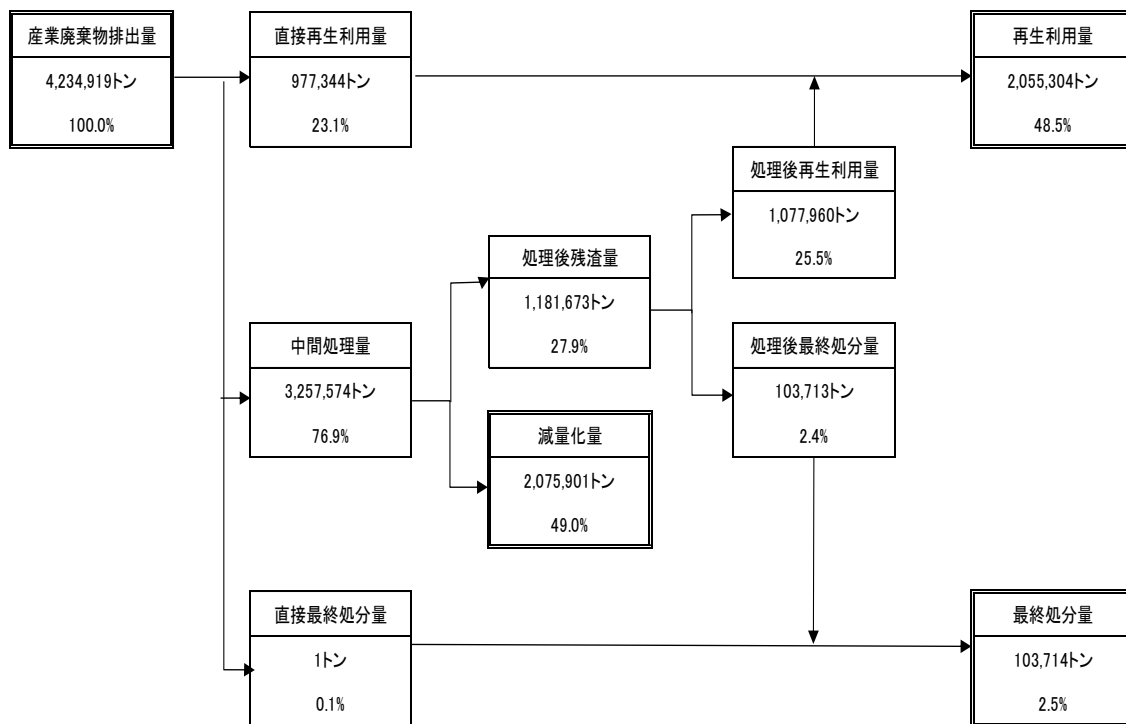
単位:トン/年

産業廃棄物の種類	産業廃棄物排出量					
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
燃え殻	1,182	655	794	771	787	
汚泥	2,070,471	1,635,179	1,619,038	1,667,810	2,182,845	
廃油	68,186	74,914	78,358	75,533	94,492	
廃酸	65,882	66,314	70,866	70,026	63,604	
廃アルカリ	1,770	2,506	1,921	2,252	1,972	
廃プラスチック類	36,485	39,549	42,375	41,075	43,628	
紙くず	4,749	4,682	5,330	5,376	7,599	
木くず	42,709	31,567	36,557	35,457	49,534	
繊維くず	7,115	485	630	608	1,312	
動植物性残さ	5,378	5,811	6,215	5,572	5,237	
動物性固形不要物						
ゴムくず	61	67	69	65	93	
金属くず	370,612	192,461	187,476	532,637	384,537	
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	149,571	87,900	154,820	142,705	174,786	
鉱さい	367,585	557,286	264,031	526,607	297,741	
がれき類	447,914	435,230	469,840	480,039	526,435	
建設系混合廃棄物	19,014	19,204	21,923	20,428	27,453	
動物のふん尿	76,133	76,563	75,082	84,913	94,457	
動物の死体						
ばいじん	291,725	735,454	728,566	768,877	237,609	
特別管理産業廃棄物	廃油	2,804	2,265	2,000	2,118	2,332
	廃酸	26,920	30,223	26,517	53,153	31,001
	廃アルカリ	476	415	472	577	500
	感染性産業廃棄物	5,079	4,995	5,102	5,368	4,468
	特定有害産業廃棄物	3,275	2,079	1,930	1,978	2,497
合計	4,065,096	4,005,804	3,799,914	4,523,944	4,234,919	

(3) 産業廃棄物の排出及び処理・処分の状況

令和4年度における産業廃棄物の処理フローは下図のとおりです。

排出量 4,234,919 トンに対する処理・処分の内訳は、再生利用量 2,055,304 トン（排出量の 48.5%）、減量化量 2,075,901 トン（同 49.0%）、最終処分量 103,714 トン（同 2.5%）です。



注：端数処理のため、合算が合わない場合があります。

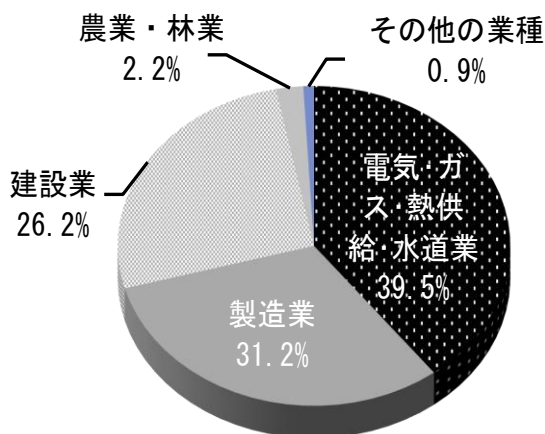
項目	量 (トン/年)	比率
産業廃棄物排出量	4,234,919	100.0%
再生利用量	2,055,304	48.5%
減量化量	2,075,901	49.0%
最終処分量	103,714	2.5%

図2 産業廃棄物の処理フロー

(4) 産業廃棄物の業種別等の排出状況

ア 業種別排出量

業種別排出量では、電気・ガス・熱供給・水道業が1,674,708トンと最も多く全体の39.5%です。次いで製造業が1,319,582トン(31.2%)、建設業が1,108,585トン(26.2%)の順に多く、この3業種で全体の96.9%を占めています。



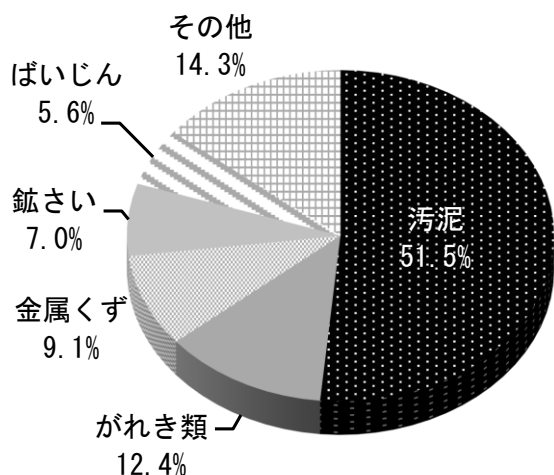
業種	排出量	
	(t/年)	構成比
電気・ガス・熱供給・水道業	1,674,708	39.5%
製造業	1,319,582	31.2%
建設業	1,108,585	26.2%
農業・林業	95,123	2.2%
その他の業種	36,921	0.9%
合計	4,234,919	100.0%

注：端数処理のため、合算が合わない場合があります。

図3 業種別排出量

イ 種類別排出量

種類別排出量では、汚泥が最も多く2,182,845トンと排出量全体の51.5%を占めています。次いで、がれき類が526,435トン(12.4%)と多く、金属くずが384,537トン(9.1%)、鉱さいが297,741トン(7.0%)、ばいじんが237,609トン(5.6%)の順に多くなっています。



廃棄物名	排出量	
	(t/年)	構成比
汚泥	2,182,845	51.5%
がれき類	526,435	12.4%
金属くず	384,537	9.1%
鉱さい	297,741	7.0%
ばいじん	237,609	5.6%
その他	605,752	14.3%
合計	4,234,919	100.0%

注：端数処理のため、合算が合わない場合があります。

図4 種類別排出量

(5) 多量排出事業者の排出状況

市内からの産業廃棄物排出量（4,234,919 トン）に対して、多量排出事業者の産業廃棄物排出量（3,196,881 トン）の排出割合は、75.5%となっています。

表2 多量排出事業者業種別排出量及び構成比比較

業種	総排出量		うち多量排出事業者		
	排出量 (トン/年)	構成比	排出量 (トン/年)	構成比	構成比 (対総排出量 (※))
電気・ガス・熱供給・水道業	1,674,708	39.5%	1,672,925	52.3%	39.5%
製造業	1,319,582	31.2%	1,215,678	38.0%	28.7%
建設業	1,108,585	26.2%	304,187	9.5%	7.2%
農業・林業	95,123	2.2%	0	0%	0%
その他の業種	36,921	0.9%	4,091	0.1%	0.1%
合計	4,234,919 (※)	100%	3,196,881	100%	75.5%

注：端数処理のため、合算が合わない場合があります。